

イノベーションと生産性上昇：

「全国イノベーション調査」と「企業活動基本調査」個票データによる実証分析

権 赫旭・深尾京司・金 榮愨

要旨

本研究では、『企業活動基本調査』の個票データと『全国イノベーション調査』の個票データを接続したデータを用いて、どのような属性の企業が、イノベーションを実現したと回答したか、またイノベーションが起きたと回答した企業は高い TFP 上昇を経験したか否かについて実証分析を行った。我々はまず、イノベーションをタイプ別に分けて、多項ロジットモデルを用いてイノベーションの決定要因を分析した。これにより、プロセス・イノベーションの場合には専有可能性や共同研究・事業などの協力関係は重要ではないが、プロダクト・イノベーションの場合にこれらのことが非常に重要な要因であるとの結果を得た。また、イノベーションが TFP 上昇へ与える効果については、プロダクト・イノベーションは TFP 上昇に持続的に有意な効果を与えるが、プロセス・イノベーションの効果はすべての期間において統計的に有意ではないとの結果を得た。